

植 調 協 会 だ よ り

◎ 平成 8 年度事業及び会計の監査

平成 9 年 5 月 8 日(木), 平成 8 年度事業の実施状況・収支決算について, 当協会監事による監査を受け, 適正との結果を得た。

◎ 第70回役員会開催

平成 9 年 5 月 21 日(水), 植調会館 3 階会議室において第70回役員会が開催され, 次の議案につき承認を得た。

1. 役 員 人 事

退任理事 田 林 聰(全農)

新任理事 岡 本 英 誠(全農)

〃 笠 井 勉(日本農薬㈱)

2. 平成 8 年度事業報告及び決算報告

3. 平成 8 年度剰余金処分

4. 平成 9 年度事業計画及び予算

〔重点研究課題〕

低コスト農業の確立に向け現状をふまえ, より安全, 低コスト, 省力となる雑草防除技術を確立する為に, 植物調節剤(除草剤, 生育調節剤)の開発利用を積極的に推進する。

(1) 低コストジャンボ剤の開発に関する研究(継続)

除草剤の普及, 特に一発処理剤の普及に伴い多年生雑草が減少し一年生雑草が主体となった現場水田を対象にして, 水管理等の現状に対応した有効成分と成分量を検討した, 低コストのジャンボ剤開発を更に推進する。

(2) ジャンボ剤の開発に関する研究(継続)

水稻栽培における画期的除草剤, ジャンボ剤について効率的試験方法と試験体制を整え, 開発を推進する。

(3) 抑草剤の開発と利用に関する研究(継続)

水田畦畔を主対象として, 有効な管理技術の確立を目的とした抑草剤の開発を行うとともに, 研究所では新規剤の開発並びに抑草剤使用による植生の遷移についても基礎試験を行うべく, 新たにモデル畦畔を造成中である。

なお抑草剤とは, 対象とする植物群の草高を一定期間抑制することをねらいとした薬剤の総称とする。

(4) 新規畑地用除草剤の開発に関する研究(新規)

畑地における栽培法, 地域別の雑草発生の現状に即し, 使い易い適用草種の広い混合剤の開発を行う。

(5) 薬剤の土壌中における行動に関する研究(継続)

(6) 植物調節剤のマイクロカプセル剤化に関する研究(継続)

(7) 難防除草剤の徹底防除に関する研究(継続)

(8) 海外試験研究の推進

① 国産植物調節剤の海外におけるスクリーニング(継続)

② 海外の試験研究機関との技術交流(継続)

③ 中国雑草原色図鑑の作成(継続)

(9) その他調査研究

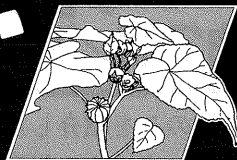
① 植物調節剤の永年使用による土壌, 作物, 微生物に及ぼす影響に関する調査研究(継続)

② 雑草発生実態調査(継続)

〔平成 9 年度予算〕

(1) 公益事業会計	27,480 千円
(2) 公益委託試験会計	1,518,700 千円
(3) 収益事業会計	18,450 千円
(4) 公益特別試験会計	11,982 千円

とうもろこし畑の イチビ 防除に!!



しつこいイチビに、とどめの効きめ!

- しつこいイチビ、やっかいなオナモミ、さらにタデ類、ハコベ、シロザ、タネツケバナなど広範囲の広葉雑草に優れた効き目を発揮します。
- 雑草の発生揃期から3葉期前後まで、広い散布適期幅をもつ除草剤です。
- 難防除雑草の発生を確認してから散布ができるので、確実性が高く、より経済的です。

畑作の広葉雑草防除剤

バサザラン[®]液剤
(ナトリウム塩)

取扱会社：クミアイ化学工業㈱／三共㈱／サンケイ化学㈱／日本農薬㈱／北興化学工業㈱／八洲化学工業㈱
普及会事務局：住友化学工業㈱ 〒104 東京都中央区新川12-27-1

®はBASF社の登録商標です。

新刊 日本原色植物ダニ図鑑

江原昭三／編集

A5判 定価13,000円(税込)

微少で判別の困難な代表種といえる植物ダニ。本書は代表種88種をカラー写真と形態図・記載により解説した判別図鑑。農業上被害の大きいハダニについては、別項を設け解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂英雄
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

平成9年6月発行
植調第31巻第3号

定価420円(送料270円)
(本体400円,消費税20円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行人 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新成印刷(有)